

令和5年度 外国語科「英語コミュニケーションⅠ」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	全学科 2年ABC組
教科書	All Aboard! English Communication I (東京書籍)	副教材等	アクセスアンカー英和辞典 (学習研究社)

1 学習の到達目標

英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、聞くこと、読むこと、話すこと [やり取り]、話すこと [発表]、書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。

(1) 聞くこと

- ア 日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができるようにする。
- イ 社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。

(2) 読むこと

- ア 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができるようにする。
- イ 社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。

(3) 話すこと [やり取り]

- ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けることができるようにする。
- イ 社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝え合うことができるようにする。

(4) 話すこと [発表]

- ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。
- イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。

(5) 書くこと

- ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにする。
- イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにする。

2 評価の観点

知識・技能	・英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働き、言語の背景にある文化などについて理解を深め、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、適切に活用できる基礎的な技能を身につけている。
思考・判断・表現	・目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題について、英語で情報や考えなどを的確に理解・表現したり、伝え合っている。
主体的に学習に取り組む態度	・英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

3 評価の方法

次の3観点を、記載の評価資料に基づいて abc の3段階で評価します。

- ・ 知識・技能 : 定期考査, 小テストなど
- ・ 思考・判断・表現 : 定期考査, 小テスト, パフォーマンステスト, レポートなど
- ・ 主体的に学習に取り組む態度 : 提出物, 授業態度, パフォーマンステストなど

4 担当者からのメッセージ

◎授業について

1. 英語の授業は、体育や芸術の授業と似ています。教師が黒板に書き、それを皆さんがノートに書き写すだけではなく、皆さん自身が積極的に参加して初めて成立する授業と言えます。主体的に行動する勇気を持って参加してください。
2. NO 欠席, NO 遅刻, NO 未提出, NO おしゃべり, FULL 活動, FULL MARKS。これが BEST です。

◎評価について

1. 定期考査, 英単語テストなど
2. 授業内で行う音読テスト, 書き取りテスト, 聞き取りテスト, インタビューテストなど
3. 課題や提出物(ノート・プリント)の内容など
4. 授業への取組み

上記1～4を総合的に判断して評価します。評価の割合は、知識・技能については約40%、思考・判断・表現については約30%、主体的に学習に取り組む態度については約30%を目安とします。

5 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の観点	領域					評価項目数	評価の材料等		
					聞	読	取	発	書				
4 5	Lesson 7 A Diary of Hope アンネ・フランク	・比較表現	・アンネ・フランクの生活と日記について紹介する授業を通して、生きることの意味について考える。 ・関心のある人物について、英語で説明する。	知	○	○	○	○	○	15	・活動観察 ・ワークシート ・小テスト		
	中間考査			知		○			○			6	
				思		○			○				
			態		○			○					
6	Lesson 8 A Door to a New Life ロボットカフェ	・現在完了形	・ロボットカフェを紹介する実況中継を通して、ロボットの可能性について考える。 ・人の生活を豊かにするロボットについて考え、英語で提案する。	知	○	○	○	○	○	15	・活動観察 ・ワークシート ・小テスト		
	Communication3 乗り換え案内	・乗り換え案内	・ここまで学習したことをもとに、乗り換え案内の仕方を理解し、伝え合う。	知	○	○	○	○	○			15	・活動観察 ・ワークシート ・小テスト
	英文のしくみ3	・文型の理解	・「主語＋動詞＋目的語＋補語」の文型を理解する。	知		○			○				
			思		○			○					
			態		○			○					
7	文法のまとめ3	・受け身 ・比較表現 ・完了形	・これまでの文法の形・意味・用法を理解する。 ・これまでの文法を用いて、相手とコミュニケーションを図る。	知	○	○	○	○	○	15	・活動観察 ・ワークシート ・小テスト		
	期末考査			知		○			○			6	
				思		○			○				
			態		○			○					
9 10	Lesson 9 Fighting Plastic Pollution 海の豊かさを守る	・分詞	・プラスチックごみによる環境汚染と戦うインドネシアの姉妹の活動を学習する。 ・環境を守るためにできることについて、英語で述べる。	知	○	○	○	○	○	15	・活動観察 ・ワークシート ・小テスト		
	中間考査			知		○			○			6	
				思		○			○				
			態		○			○					
11	Lesson 10 Pigs from across the Sea 海の向こうからの贈り物	・関係代名詞	・第二次世界大戦によって疲弊した沖縄とハワイ在住の沖縄出身日系アメリカ人からの支援や、両地域の現在の交流について学習する。 ・海外の文化や社会に対する理解を深める活動について、英語で述べる。	知	○	○	○	○	○	15	・活動観察 ・ワークシート ・小テスト		
	期末考査			知		○			○			6	
				思		○			○				
			態		○			○					

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の観点	領域					評価項目数	評価の材料等
					聞	読	取	発	書		
	Reading2 The Wizard of Oz	・物語の内容把握	・家ごと大竜巻に飛ばされて不思議なオズの国に降り立ったドロシーと愛犬のトトが、自分の家にとどりつくまでの冒険物語を読み、場面や登場人物の心情を読み取る。 ・ドロシーを中心に、登場人物の気持ちを考え、音読する。	知 思 態	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	12	<ul style="list-style-type: none"> ・活動観察 ・ワークシート ・小テスト
	Extra Target3 もし私が○○なら…	・仮定法過去	・「もし私が○○なら…」と想像して、しようと思うこと・できることについて、ペアになって対話をする。	知 思 態	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	15	
	文法のまとめ4	・分詞 ・関係詞 ・句読法	・これまでの文法の形・意味・用法を理解する。 ・これまでの文法を用いて、相手とコミュニケーションを図る。	知 思 態	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	15	
	学年末考査			知 思 態		○ ○ ○			○ ○ ○	6	